

小さくても元気で明るい輝きのあるまち

町報

こうふ

No.523

2014

10月



下安井大橋が完成！

～交通・利便性の向上に期待～

今月号の 主な内容

- 平成25年度決算報告
- まちの話題
下安井大橋竣工 ほか
- まちの教育
ファミリー防災キャンプ実施 ほか
- お知らせ
第5回 秋の奥大山美味しいもん祭り開催
今後の農地について考えてみませんか？ ほか

—特集—

学生がやって来るまち
奥大山江府町

学生がやってくるまち 奥大山江府町



▲鳥大保健学科が活動する下安井（1年目）の住民報告会（8月30日）には、21名の多くの集落の皆さんが参加くださいました。

「住民のいのちと健康を守る次世代の保健・医療従事者を地域で育てるための江府町の取り組み」

江府町では、将来、中山間地で従事する保健・医療従事者を地域住民と行政と大学が一緒になって育てる取り組みを始め、今年で15年目になります。これまで、鳥取大学医学部の地域医療研究部は8集落、同学部保健学科は5集落の計13集落に協力を得て活動してきました。

当初は、単年ごとの夏休み中の活動が中心でしたが、各集落につき3か年計画で活動するようになった今では、「地域のこともっと知り、もっと地域に還元したい」という学生の思いから、春から冬まで年間を通じて活動するようになりました。

現在では、年間延べ五百人の医学部生が来町して活動しています。

この活動の成果としては、
①集落の活性化（家庭血圧記録の普及、運動グループや支え合いの組織の立ち上げ、強化）

②学生の育成（将来、地域医療や保健活動に従事したいという学生の増加）

③行政の施策化への反映（明確になった町の課題や町民の生の声をもとに、集落単位の健康づくりを展開）など三方面の成果が得られています。

今回は、今年活動している地域医療研究部による日の詰集落、宮市集落、保健学科による下安井集落の様子をもとに、学生との健康づくり活動についてご紹介します。

地域と暮らしを 見る・知る・体験する

まず学生たちは、毎年活動を始める前に、自分たちの足で歩いて、その土地の空気、におい、風土を肌身で感じることで、地域を見ること、知ることから始まります。医学部生たちは、都市出身の学生も多く、中山間地の農業を中心とした人々の暮らしをほとんど知りません。学生たちは、農業体験などをとおして、いかに草刈りや田畑の管理が重労働であるかを体感します。



▲宮市での農業体験（田植え、稲刈り）

住民の生の声を聴く

学生たちは、集落内のすべてのご家庭を班ごとに訪問します。学生が生活の場に赴くことで、健康づくりの主役は生活者である住民であることを学びとっていきます。各ご家庭への訪問を1年目、2年目、3年目と回数を重ねるたびに、町民の皆さんの本音の部分をお聴きすることができているようです。

町民の皆さんからも「学生が来てくれてうれしい」「住民同士ではかえって聞きにくい本音を集落に還してくれてありがたい」という声が聞かれます。



▲熱心に話を聞く医学科生、看護学生たち (下安井)

健康課題を分析する

この活動の最大の目的は、地域の健康課題を明らかにすることです。

20歳以上の集落住民すべてを対象としたアンケート調査では、ほとんどの集落で「高血圧」が最大の健康課題としてあがってきます。集落内人口の3〜5割が「高血圧」であることは、高齢化が進む江府町にとつての大きな課題です。その対策として、町が啓発している「家庭血圧記録」がいかかにして定着するか、未治療の人や若い人にも測ってもらうにはどうしたらよいか、各集落の特性をふまえながら、学生、大学教授ら、町の医師、保健師とともに考えます。

学生からの提案、そして住民とともに考える

毎年夏の住民報告会では分析した結果の報告と学生からの提案を発表し、その後の座談会で健康づくりのためにできることを集落の皆さんと話し合います。

初年度の下安井では、「自分たちの集落で高血圧の人がこんなに多いとは思わなかった」「自分たちの生活背景のどこに要因があるのか分析してほしい」という意見が聞かれていました。今年度が最終年度となる2年目の宮市では、高血圧と肥満対策としての食事内容について、3年目の日の話では腰痛が痛い人が多いという課題に対しての運動の取り組みをテーマに、集落の皆さんと今年の冬にかけて活動する予定です。



▲「今後、認知症になることやなつたときの生活も心配」 (8月30日、下安井座談会の声)



▲「高齢者がたんぱく質をとるための料理教室してほしい」 (8月28日、宮市座談会の声)



▲「この運動を続けたら腰痛がよくなるかも」 (8月28日、日の話座談会の声)

学生とともに歩む

健康なまちづくり

江府町長 竹内敏朗

本町には、毎年夏には医学部生に限らず県内外から述べ三百人を超える学生が訪れています。これは行政がそれぞれの大学に働きかけて実現したものでなく、さまざまな人の出会いを通じて始まったものです。

一番最初に、医学部生が訪れるようになったのは、今から15年前の平成12年のことです。それは平成9年に江尾診療所長として赴任した武地幹夫医師が「質の高い医療従事者を育成するには地域を学ぶことがもつとも大切である」との思いから医療従事者を志す医学生に地域の実情を肌身で感じさせ、地域の住民といっしょになって健康を考え、生活改善を図っていく取り組みを行いたいとの願いがありました。

当初は町民の皆さんも医学生との交流に戸惑いを感じることも多かったかと思えます。しかし、一番変わったのは町民の皆さんでした。年を追って、学生たちの取り組み真剣な姿勢に触れ、徐々に変わっていきました。

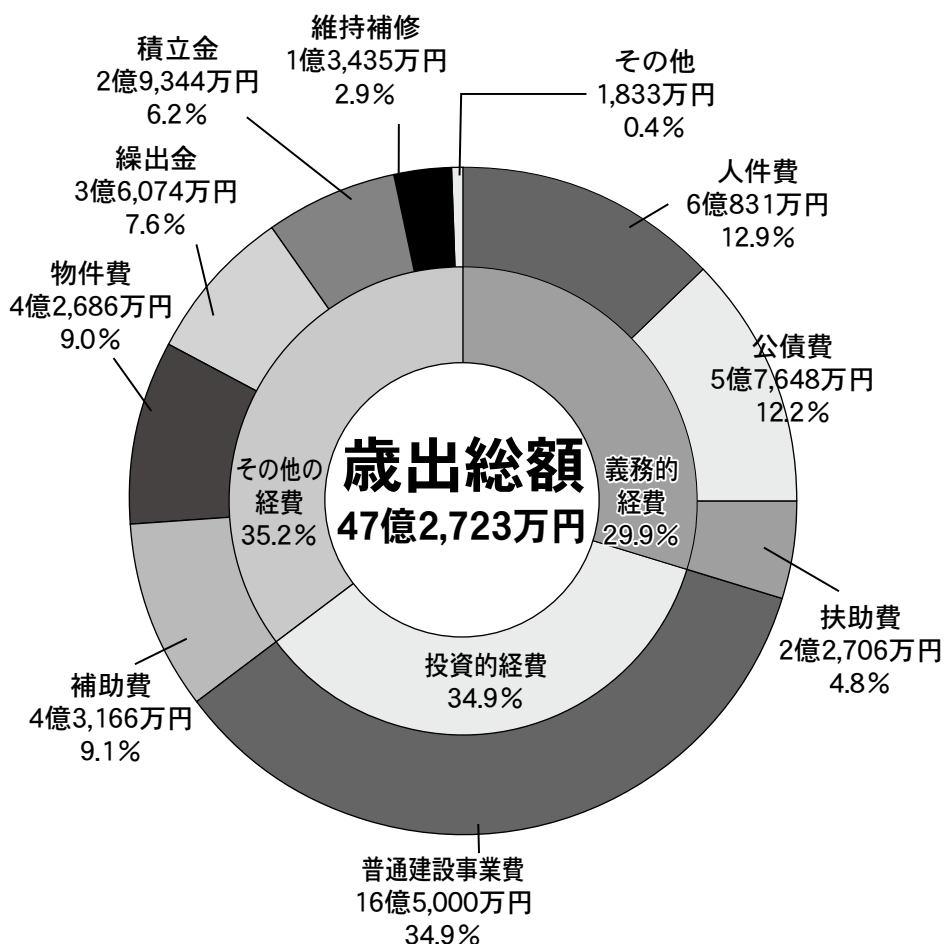
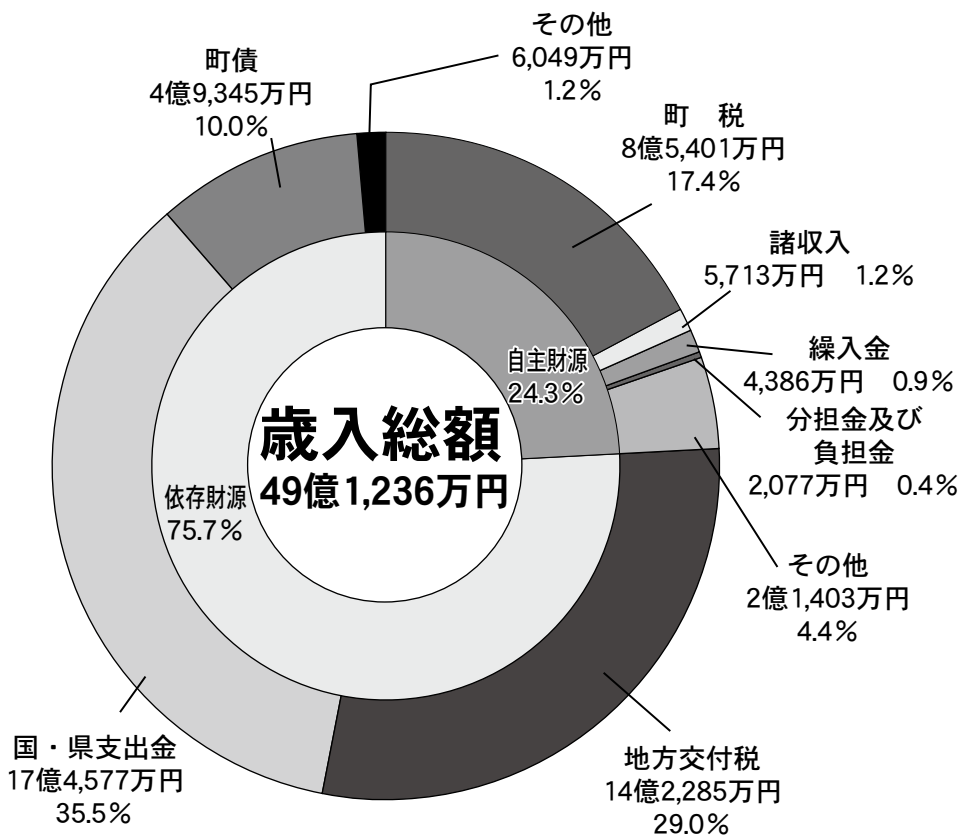
ある集落では学生たちが3年間、調査活動啓発活動を行った結果、生活改善を図り自分で健康を守ろうとグループも立ち上がり、定例の集いでは地域の皆さんの健康づくりの取り組みが行われています。

このように本町は学生との出会いをきっかけに世代間を超えての交流による地域の皆さんの笑顔があふれるまちづくり、そして学生たちが地域で発見したお宝を、今後の施策に反映したいと学生たちに会うたびに感じています。

平成25年度

決算報告

みなさんが納めた税金は、この一年間でどのように使われたのでしょうか。



- 【一般会計】 町が基本的な施策をまかなう予算
- 【特別会計】 一般会計と区分し、特定の事業を行う予算
- 【町税】 みなさんが納めた税金
- 【繰入金】 各種基金の取り崩しによって繰り入れたお金
- 【分担金・負担金】 特別の利益を受けた方から負担していただいたお金
- 【諸収入】 雑入など、その他のさまざまな収入
- 【地方交付税】 所得税など国が徴収した税金の中から、町の財政状況に応じて交付されたお金
- 【町債】 町の借金。大きな事業を行うために国や金融機関から借り入れたお金
- 【国・県支出金】 特定の目的のために国や県から交付されたお金
- 【自主財源】 町独自に入ってくるお金
- 【依存財源】 国や県から交付されたり、借り入れたりしたお金
- 【人件費】 町職員の給与や、町議会議員などの報酬
- 【扶助費】 法令に基づき支出された経費。児童手当、医療扶助など
- 【公債費】 借り入れたお金の返済金
- 【普通建設事業費】 道路、施設などの新增設、改良などの建設事業に使ったお金
- 【積立金】 積み立てたお金
- 【物件費】 消耗品、臨時職員賃金など

歳入・歳出ともに大幅に増加

～中学校建設・町民プール移転などで13億円増～

歳入総額
49億1,236万円

一般会計の歳入決算額は、49億1,236万円、前年度に比べ、13億9,170万円、率にして39.5割増加しました。

自主財源（町税・繰入金・使用料など）、11億8,980万円（24.3割）、依存財源（地方交付税、町債など）37億2,256万円（75.7割）となっています。自主財源のうち8億5,401万円が町税です。前年度より997万円減少し、歳入に占める割合は17.4割です。

次に、その他の2億1,403万円、前年度より3,437万円減少しています。増減の主なもの、地ビール工場のプラントなどの財産を売払い、財産収入が1,205万円、ふるさと納税などの寄付が634万円増加しましたが、平成24年度からの繰越金が5,342万円減少しています。諸収入は5,713万円で、1,498万円増加しています。主な増加の要因は、学校給食費を一般会計に予算化したことによるものです。

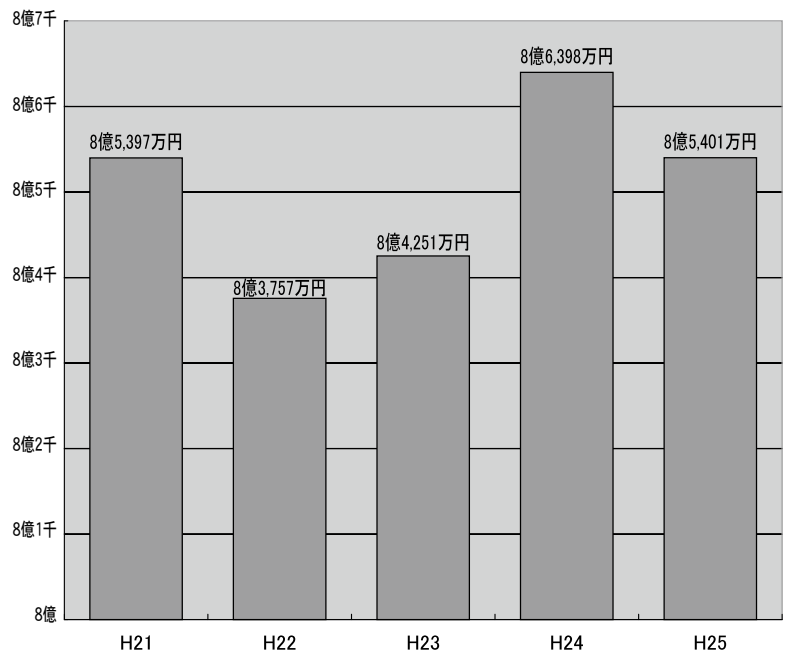
分担金及び負担金は、2,077万円で、事業完了に伴い受益者負担金が減少しています。

基金の取り崩しなどによる繰入金は、4,386万円で、134万円増加しています。これは、江府中学校建設費の財源の一部として基金を4,000万円取り崩したことにあります。

依存財源のうち地方交付税は、14億2,285万円で、歳入の29.0割をしめ、前年度より、5,479万円減少しています。減額の要因は、交付税措置される町債の償還金の減少と、平成25年度に限り交付税の算定に係る人件費が削減されたことによります。

国県支出金は、17億4,577万円で12億3,852万円と大幅に増加しています。これは、国の経済対策の一環である地域の元氣臨時交付金が7億4,852万円増加したことによるものと、中学

町税の推移（過去5年間）



校建設および町民プール移転に係る補助金がそれぞれ4億2,101万円と7,514万円増加したことにあります。

町債は、4億9,345万円を借り入れ、前年度より1億9,775万円増加しています。主な要因は、中学校建設および町民プール移転事業の財源の一部として借り入れた町債が1億8,470万円増加したためです。

歳出総額

47億2,723万円

歳出決算額は、47億2,723万円、前年度より13億6,158万円増加しました。

人件費は、6億831万円で、200万円の微減でした。

公債費については、5億7,648万円で、前年度より、6,457万円減少しています。

主な要因は、平成12年度に借り入れた過疎対策事業債の償還が6,144万円減少したことによりです。

扶助費は2億

2,706万円で、

3,257万円増

加しています。主

な要因は児童福祉

に係る扶助が

1,353万円、

生活保護に係る扶

助が1,335万

円増加しています

また、高齢者福祉

に係る扶助も363

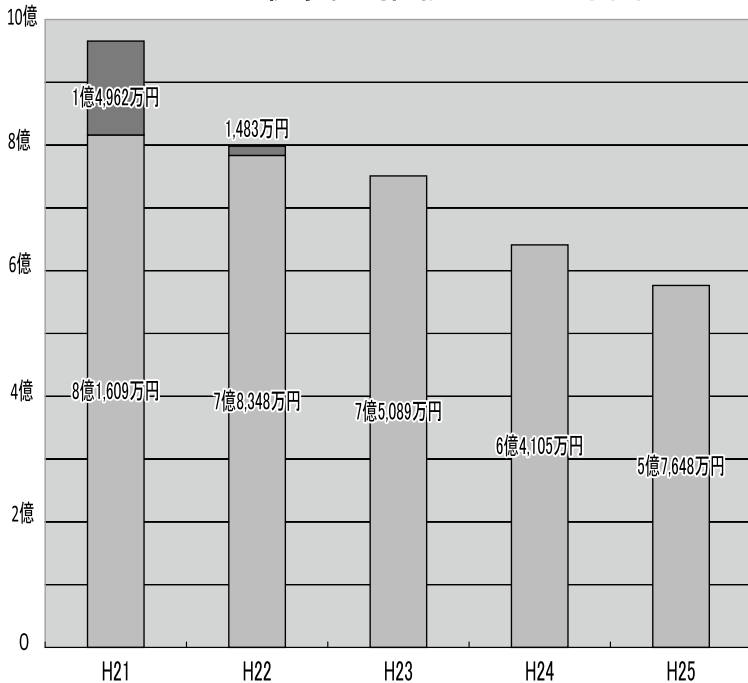
万円増加しており、

近年増加傾向にあ

ります。

普通建設事業費

公債費の推移(過去5年間)



は、16億5,000万円で13億2,408万円と大きく増加しています。主な要因は、中学校建設で9億5,491万円、町民プールで1億5,068万円、地域の元気臨時交付金事業で1億333万円増加し、さらに平成25年7月等に発生した災害復旧事業費も8,914万円増加しています。

補助費は、4億3,166万円で、主なものは、衛生施設組合負担金6,021万円、西部広域行政管理組合負担金1億1,857万円、中山間地域直接支払制度交付金9,187万円、日野病院へ

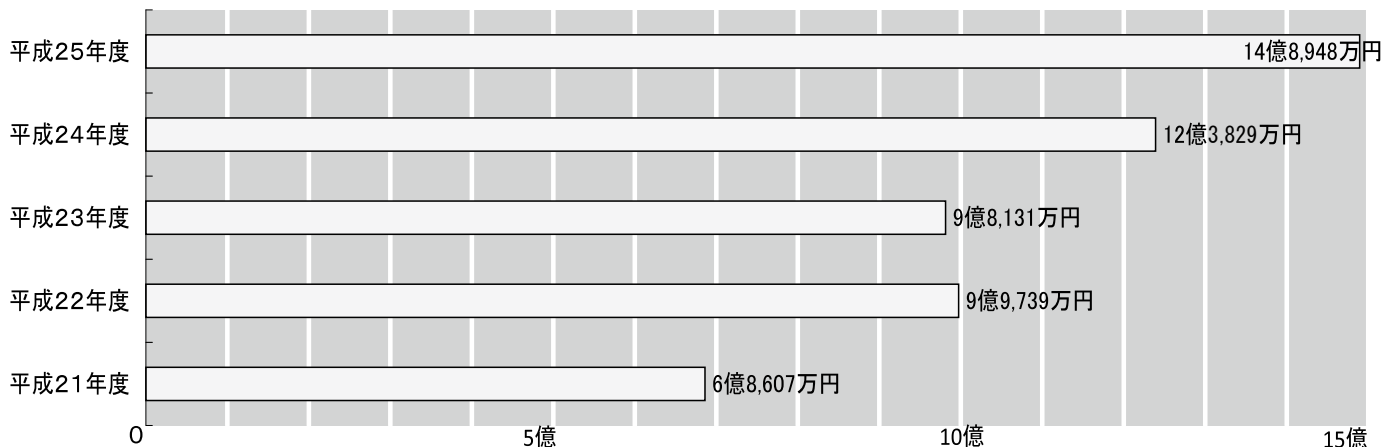
の負担金2,034万円などです。繰出金は、3億6,074万円で、国民健康保険事業、介護保険事業などの医療・介護事業関係の特別会計に1億9,970万円、下水道の特別会計に1億820万円、簡易水道特別会計に5,284万円となっています。

積立金は、2億9,344万円となりました。主なものは、財政調整基金に5,140万円、地域の元気臨時交付金基金に2億3,241万円となっています。地域の元気臨時交付金基金は、平成26年度に計画に基づき事業に充当します。

1億5,754万円
平成26年度へ繰越

繰越額は、歳入総額49億1,236万円から歳出総額47億2,723万円を差し引いた1億8,513万円に、さらに繰越費(例外的に年度を越えて支出できる経費)2,759万円を差し引いた1億5,754万円が、平成26年度への純繰越金となります。

基金の推移(過去5年間)



特別会計決算

会計名	歳入	歳出	収支	一般会計からの繰入金
住宅新築資金等貸付事業	314万円	299万円	15万円	-
国民健康保険（事業勘定）	3億6,675万円	3億4,224万円	2,451万円	1,034万円
国民健康保険（施設勘定）	2億4,249万円	2億2,688万円	1,561万円	3,799万円
介護保険（保険事業勘定）	5億4,854万円	5億4,478万円	376万円	7,492万円
介護保険(サービス事業勘定)	320万円	238万円	82万円	-
老人保健施設	4,816万円	4,816万円	-	-
後期高齢者医療	4,931万円	4,867万円	64万円	1,635万円
索道事業	8,513万円	7,230万円	1,283万円	-
簡易水道事業	1億6,618万円	1億6,092万円	526万円	5,284万円
農業集落排水事業	2億831万円	1億9,257万円	1,574万円	8,149万円
林業集落排水事業	614万円	525万円	89万円	467万円
特定環境保全公共下水道事業	7,659万円	7,286万円	373万円	2,204万円
江尾財産区	268万円	15万円	253万円	-
神奈川財産区	160万円	130万円	30万円	-
米沢財産区	825万円	708万円	117万円	-
合計	18億1,647万円	17億2,853万円	8,794万円	3億64万円

財政健全化の状況

平成25年度決算に基づく健全化判断比率などについては、早期健全化基準を下回り、ただちに財政健全化計画の策定が求められる状態ではありません。

■健全化判断比率

区分		実質赤字比率	連結赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
		(一般会計などを対象とした実質赤字の標準財政規模に占める割合)	(全会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合)	(一般会計などが負担する公債費が標準財政規模に占める割合)	(一般会計などが将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合)
算定結果	25年度	赤字なし	赤字なし	15.4	80.5
	24年度	赤字なし	赤字なし	17.0	66.8
早期健全化基準		15.0	20.0	25.0	350.0
財政再建基準		20.0	30.0	35.0	

※標準財政規模は、一般財源の標準的な規模を示す指標で、江府町の25年度数値は21億1,452万円です。

■公営企業会計資金不足比率

区分		簡易水道事業	特定環境保全公共下水道事業	農業集落排水事業	林業集落排水事業	索道事業
		算定結果	25年度	赤字なし	赤字なし	赤字なし
	24年度	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし
経営健全化基準		20.0				

まちの話題

下安井大橋が遂に完成！



▲園児の太鼓が式を盛り上げます



▲テープカットを行い、ついに開通！

9月29日、下安井大橋の竣工式が橋のたもとで行われ、関係集落の方など約50名が参加しました。

下安井大橋は平成22年度から着工し、橋の長さは101m、幅6.5m、総工事費4億8千2百万円で完成しました。

式典では、主催者あいさつとして竹内町長から「周辺集落の皆さんの長年の思いをかなえることが出来、感激もひとしおです。今後はこの橋が、災害時等の大型車両の通行などの利便性向上のほか、地域の活性化にも役立つことを期待します。」と話がありました。

竣工式の後には、保育園の園児による「日野川こども太鼓」のアトラクションのほか、テープカット、渡り初めが行われました。

運動会で気持ちいい汗を流そう！

町内各地で秋晴れの運動会



▲こぼさないよう気をつけて「水入れ競争」



▲熟練の技「輪くぐり」



▲意外と難しい「輪投げ」



▲一進一退の「総合リレー」



▲チームで競い合う「鯛釣り」(明倫)

9月28日、江府町運動公園で江尾地区の町民運動会が、明倫小学校体育館で健康と体力づくりフェスティバルin明倫地区がそれぞれ行われました。

江尾地区では、各地区とも練習を重ねた競技で、熱戦を繰り広げました。

明倫地区では、ストレッチを兼ねた健康づくり講演会のほか、ボーリングや鯛釣りなどが行われ、チーム一丸となって体を動かし、気持ちの良い汗を流しました。

まちの話題

町では、今年で節目の歳を迎えられる在宅の方（計156名）に、各集落の老人クラブの会長さんや区長さんを通じて、記念品を贈呈しました。

喜寿（77歳） 昭和12年生 60名
傘寿（80歳） 昭和9年生 55名
米寿（88歳） 大正15年生 38名
白寿（99歳） 大正4年生 2名
百歳 大正3年生 1名

95歳以上で在宅の28名の方には、敬意と感謝の意をこめて町長が自宅を訪問し、記念品を贈呈しました。また、100歳以上の方を在宅で紹介されている2名の方には、感謝状と介護年手当金を贈呈しました。

みなさんこれからもお体を大切に、いつまでもお元気で過ごしてください。

▶親子で表彰を受けられた末次さん（杉谷）



「ご長寿おめでとーございます！」

町内最高齢は106歳

「グラウンド新たに

江府中学校体育大会

9月6日、江府町運動公園で江府中学校の体育大会が行われました。昨年までの江府中学校のグラウンドから場所を移し、新しい江府中の体育大会がスタートしました。生徒たちは、日頃の練習の成果を発揮し、広いグラウンドを所狭しと躍動しました。



▲規律ある行進で入場



▲白熱するタイヤ取り



▲こだいづ踊りを保存会の皆さんと一緒に披露

「待ちに待った収穫！」

江府小学校で稲刈り体験



▲たくさん収穫できました



▲地域の方の素早い稲刈りに驚く生徒達

9月16日、江府小学校で稲刈り体験が行われ、5年生が参加しました。当日は地域のボランティアの方々が、昔ながらの鎌で稲刈りを指導してくださいました。5月に植えた苗は生育も良く80cmほどに成長。生徒たちは一つ一つ丁寧に刈り取っていました。

「デイサービスセンターに 歩行器を贈呈

9月11日(木)、「デイサービスセンターいこいの広場らんちゅう」に、山陰合同銀行「ごうぎん一粒の麦の会」から歩行器が贈呈されました。ごうぎん一粒の麦の会では、地域社会への感謝の気持ちを表すため、毎年募金活動や寄付活動を行っており、今回は江府支店からの推薦で、江府町のらんちゅうが贈呈先に選ばれました。贈呈を受け、代表の浦部さんは「予期していなかったのが大変うれしいこと。利用者のため、大切に役立てたい」と話しました。



▲高橋支店長から目録が贈呈されました

「秋季グラウンドゴルフ大会

9月9日(火)、せせらぎ公園にて平成26年度江府町グラウンドゴルフ秋季大会兼スポレク予選会に、23名が参加し開催されました。

晴れやかな秋晴れの中、各自入念にクラブの感覚を確認し、1打・2打差の接戦に汗を流していました。

この大会の上位者は10月28日に北栄町で開催される第15回県民スポレク祭に出場します。結果は次のとおりでした。

〈結果〉

- 優勝 板垣 孝子さん (39打)
- 準優勝 梅林美美子さん (40打)
- 第3位 宮本 精子さん (40打)



▲スポレク出場をかけ真剣なショット



▲受賞者のみなさん

「2014 シーズン

町民野球大会

9月8日(月)〜22日(月)までの間の4日間、町民運動公園総合グラウンドにて町民野球大会が開催されました。

各集落や事業所の精鋭8チームが参加し、好天に恵まれた中で自分たちのベストパフォーマンスを見せていました。

決勝戦は昨年度と同じチームが対決することになりましたが、貝田チームが昨年の雪辱を果たし見事に優勝しました。

〈結果〉

- 優勝 貝田チーム
- 準優勝 本町5丁目チーム



▲白熱の試合



▲優勝の貝田チーム



郡内他町のイベント情報

日野町



第37回生きいき“ひの”ふれあいまつり

日にち 10月25日(土)、26日(日)

会場【販売】日野町役場前駐車場(2日間)

【展示】日野町山村開発センター(2日間)

【芸能】日野町文化センター(26日のみ)

伝統あるものや人との触れ合い、町民みんなが元気になって将来のまちづくりにつなげようと、役場前駐車場などを会場に、第37回生きいき“ひの”ふれあいまつりが、10月25日(土)と26日(日)の2日間開かれます。

農産物・加工品などの即売コーナーのほか、文化団体などの作品展示、吹奏楽やコーラスなどの芸能発表があり、多くの来場者でにぎわいます。

■お問合せ先 日野町役場企画政策課内実行委員会事務局(電話72-0332)



▲昨年、全国ご当地バーガーグランプリに出場した奥日野きのこバーガーも出店予定

日南町



第17回にちなん食のバザール 開催



日にち：平成26年10月25日(土)、26日(日)

開場：10時00分

会場：日南町総合文化センター屋外イベント広場

(天候等により変更になる場合があります)

旬の味覚や新鮮野菜、名物・ふるりの味といった日南町の「美味しい」や「楽しい」を集めたイベント「第17回にちなん食のバザール」を開催します。日南町の公式キャラクター「オッサンショウオ」も会場に遊びに来る予定ですので、ぜひ皆さまもご来場ください。

詳しいイベント内容は、10月24日の新聞折込チラシをご覧ください。

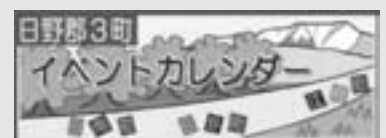
問合せ先：にちなん食のバザール実行委員会事務局

(日南町役場企画課内) 電話0859-82-1115

★日野郡内のイベントについてもっと知りたい方は、各町ホームページと日野振興センターホームページに掲載されている「日野郡3町イベントカレンダー」をご覧ください。

(<http://www.pref.tottori.lg.jp/hino-events/>)

目印はコレ! →



とっとり登録伝統農地

奥大山黒ボク台地

強酸性黒ボク土に ブルーベリー

本地区は国立公園大山の南壁や烏ヶ山が望める、笠原地区一帯の高原台地である。大山火山灰に由来する黒ボク土で、表層多腐植質であり、極めて強酸性土壌である。

笠原は高原だこの産地での地に酸性土でも栽培可能なブルーベリー団地が新たに誕生した。

(1)ブルーベリーへの挑戦

国立公園大山の南側にある笠原は、標高720m〜750mの高原にあり、(株)かわばたの川端雄勇社長が江府町の仲介で農地を借り、強酸性土壌でも栽培可能なブルーベリーを植栽した。

平成16年6月、鳥取県で第1号の農業特区として発足した。

企業が農地をリースで取得することが珍しい頃であった。

(2)ブルーベリーの植栽

10haの農地に40品種のブルーベリーを植栽し、全国でも有数のブルーベリー団地を目指した。

品種は、西日本に多いラビットアイ系よりも、寒冷地・高冷地向きのハイブッシュ系を重点としている。7月上旬〜9月中旬まで、連続し

【登録部門(価値評価)】

I 生産振興				II 景観	III 生態・環境	IV 教育・福祉	V 歴史・文化
1 砂丘土	2 黒ボク土 ☆	3 褐色土	4 灰色土	◎	◎	◎	◎

(評価指標：☆秀 ◎優 ○良)



【所在地】日野郡江府町

・【主要作目】
・ブルーベリー
・だいこん

て収穫が可能なように、熟期が極早生から極晩生までの品種を組み合わせた。

(3)観光農園をめざして
ブルーベリーの収穫は極めて人手を要するので、平成19年から観光農園をオープンして、事業を運営している。

ブルーベリーは生食することが多いので、化学合成農薬はまったく使用せず、化学肥料は基準の5割減としている。

平成20年には、鳥取県特別栽培農産物として認証された。土づくりとして完熟堆肥を施用し、除草剤は使用せず、防草シートを被覆している。消費者の立場を考慮して、環境にやさしいブルーベリー栽培として、注目されている。



(4)地域資源としての農園

会社の職員は3人のみで、地元からパート職員を5〜10人雇用しており、雇用促進にも貢献している。農園のそばにはカフェテリアがあり、奥大山の美しい自然環境に恵まれ、農園は農業資源ばかりでなく、地域活性化の要として活用されている。

ちなみに、ブルーベリーは、アントシアニンやポリフェノールを多く含み、健康食品として極めて将来性が高い。

とっとり登録 伝統農地とは

農地を維持していくためには後継者対策などと併せて特産地としての歴史や景観・環境の保全、集落機能の維持、教育や文化などの面で農地が果たしている伝統的な価値を見直し、地域の財産として次代に継承していくことが重要。このため鳥取県農業委員会系統組織は、『農地を守り活かす全県運動』の一環として、「とっとり伝統農地登録制度」を県内50ヵ所創設し、江府町は奥大山黒ボク台地が登録。

10月の農地相談会

お気軽にご相談ください。

◎相談日 平成26年10月31日

午後1時30分から午後4時まで

◎場所 江府町山村開発センター

農業委員会総会 (9月)

審議案件すべて承認されました。

農業振興地域整備計画の変更に係る意見具申 1件

非農地証明について 2件

農用地利用集積計画(案) 1件

農業経営基盤の強化の促進に係る基本的な構想について

問い合わせ先 農業委員会事務局 ☎75-6620

全国学力・学習状況調査結果について

4月に全国学力・学習状況調査が行われ、対象となる江府小学校の6年生と江府中学校の3年生が参加しました。

この調査は毎年実施されており、今年も全国の全ての小・中学校を対象に、国語と算数・数学の2教科と質問紙による調査が行われました。その結果から見えてきた、江府町の子どもの実態や課題についてお伝えします。



江府小学校の結果

◆学習について

国語では、漢字の読字や故事成語といった言語の知識を問う設問では、全国平均を上回る正答率ですが、情景描写の効果や内容に関係づけてとらえるなど文章を読み取る面に課題が見られました。特に、条件に合わせて文章を書くという力に課題が見られます。算数では、基本的な計算はおおむね定着していますが、思考力につながる「数学的な考え方」については課題があります。また、記述式の問題の正答率が低い傾向も見られました。昨年度課題になっていた無答率については、両教科ともに大きな改善が見られました。自分なりに粘り強く考える姿勢は、今後も育てていきたいと思えます。

◆生活習慣や意識について

生活習慣については、朝食、起床・就寝時刻などは例年通り良好な結果でした。難しいことへチャレンジしようとしていたり発表を得意と考えたりする児童が多い傾向が見られます。また、読書習慣が身につけている児童が多く、1日1時間以上読書する児童の割合は全国を大きく上回っています。一方、家庭での予習・復習といった習慣は全国平均より低い結果となりました。家庭での学習時間も、少ない傾向にあります。「人の気持ちがかかる人になりたい」「いじめはいけない」といった規範意識・人権意識は高い結果となりましたが、地域や社会に対する関心等では、課題が見られます。

江府中学校の結果

◆学習について

国語・数学ともにおおむね良好な結果でした。特に、数学の「活用」問題は全国平均に比べて5ポイント以上上回る結果が得られました。昨年度課題となっていた文章で解答する記述式問題でも、改善が見られます。難しい問題でもあきらめず取り組んだり、もつと簡単に解く方法がないか考えたりする生徒が多いことが、結果に結びついていると考えられます。国語では辞書の活用に課題が見られるものの、どの領域についてもおおむね良好な結果でした。国語や数学の学習は将来役に立つと考える生徒も多い傾向にあります。

◆生活習慣や意識について

「規則を守る」「いじめはよくない」といった規範意識が高く、「自分にはよいところがある」という自己肯定感をもつ生徒が多く見られます。学習習慣については、復習はできているものの計画的にしている生徒は少なく、学習時間も全国平均に比べて少ない傾向にあります。また、読書の時間も少ない傾向が見られます。地域行事に参加していると感じている生徒は、全国平均を30ポイント以上上回っており、地域を題材とする総合的な学習の取り組みにも意欲的で、地域を意識した生徒が多いのも特徴です。

授業の始めに「めあて」を持つ、終わりに「振り返り」をするといった両校が共通に授業改善の一つとして力を入れてきた取組が、意識調査から習慣づいてきたことが分かります。

今回の調査は、限られた設問によるものであり、子ども達のすべてを評価するものではありませんが、課題となる面については、各校での指導を振り返る、小中連携の中で互いの指導の良さを取り入れるなど改善を図る必要があります。

「学校に行くのが楽しい」と答えた児童生徒は、両校ともに全国平均を上回りました。全ての子ども達の期待に応え、生きる力につながる確かな学力をつけるよう今後も努力していきたいと思えます。



「ファミリー防災キャンプ」を開催しました

9月20日(土)・21日(日)に江府小学校にて「ファミリー防災キャンプ 避難所に泊まろうく体育館で避難所疑似体験をしよう!」を開催し、災害時に避難場所になる小学校の体育館に泊まり、避難所の生活の疑似体験を行いました。

小学校・中学校の児童・生徒とその保護者が対象者で、25名の参加がありました。小学校の体育館に親子で段ボールを使い各家庭の寝るスペースを作り、そこに毛布を敷き寝ることで避難所での宿泊体験を行いました。ほかにも、夕食には江府町日赤奉仕団による災害時の炊飯である「ハイゼックス」の作り方の指導や「防災ずきん」についてのお話、江府消防署による「消火訓練」、火災時の煙を体験できる「煙体験」を行い、親子で防災についての体験を行いました。



▲消火訓練の様子



▲ハイゼックスづくり



▲段ボールハウス

カーニー先生のほのぼのコラム②⑥

Hello everyone,

It has been very cool lately, but there are still many mosquitoes. I was bitten a lot by them, and was itchy almost every day. But I bought some muhi to stop the itchy feeling. My grandmother gave me some muhi when I visited Japan a long time ago and was bitten, but I never knew what it was called in English. Even in America, I always called it, "muhi."

This last month, the students had their Sports Day Festival at the junior high school. It was very fun. We don't have Sports Day at schools in California, so it's always a very special experience. I was on the yellow team, and though the students tried their very best, the red team won this year. I also went to Akasaki Junior High School's Sports Day too because Joshua works there. It was interesting to see another school's Sports Day. Some of the events they held were different from Kofu's. But it was still very fun.

I am looking forward to winter arriving, mainly because Koebi loves the snow. I want to see her run around and chase snowflakes again.

Stay warm, everyone! It's a little cold now!

Connie

みなさん、こんにちは。

最近とても涼しい日が続きましたが、まだたくさんの蚊がいますね。私はよく蚊に刺されて、毎日とてもかゆい思いをしました。そこで、かゆみ止めに「ムヒ」を買いました。ずっと以前、私が日本に来た時、蚊に刺されたんですが、私の祖母は私に「ムヒ」をくれました。その時には、それが英語で何と呼ばれているのか知らなかったので、私はアメリカではいつも「ムヒ」と呼んでいました。

先月、江府中学校で体育大会がありました。とても楽しかったです。カリフォルニアでは体育大会というものはないので、特別な経験なんです。私は黄色組で、黄色組の生徒たちは一生懸命頑張りましたが、赤組が勝ちました。私は赤崎中学校の体育大会も見に行きました。ジョシユア(婚約者)が勤めているからです。いくつかの種目は江府中学校とは違っていました。でも、とても楽しかったです。

私は冬が来るのを楽しみしています。なぜなら小江尾ちゃんが雪が大好きだからです。また小江尾ちゃんが雪を追いかけて走り回るのを見たいと思っています。

皆さん温かくして過ごしてくださいね! 今はちょっと寒いですからね。カーニーより



平成26年度 小地域懇談会 身のまわりの人権（迷信・因習）

今年度の人権同和問題小地域懇談会は、「身のまわりの人権（迷信・因習）」をテーマに開催します。昔から信じてこられた迷信、受け継がれてきた因習について皆さんも一緒に考えてみませんか？

＜小地域懇談会 日程＞

日	時	集 落	日	時	集 落	日	時	集 落
10月14日(火)	19:00	深山口	10月24日(金)	19:00	小原	11月5日(水)	19:00	大満
	19:00	尾之上原		19:00	大河原		19:00	助沢
15日(水)	19:30	日の詰	27日(月)	19:30	栗尾		19:00	新町二丁目
	19:00	小江尾		19:00	美女石	6日(木)	19:30	貝田
16日(木)	19:00	本町二丁目	28日(火)	19:00	宮市	7日(金)	19:00	荒田
	19:00	★佐川・集合住宅		19:00	一旦		19:00	下安井
17日(金)	19:00	本町三丁目	29日(水)	19:00	西成	10日(月)	19:30	本町四丁目
	19:30	★下蚊屋・鏡ヶ成		19:00	池の内		19:00	久連
20日(月)	19:00	袋原	30日(木)	19:00	★半の上・宮の前・高谷	<p>*開催会場は各集落の公民館です。 *★印の付いた集落は一番最初に記載している集落の公民館で開催します。 *日程は各集落の都合により変更する場合があります。</p>		
	19:00	美用		19:00	宮市原			
21日(火)	19:00	吉原	31日(金)	19:00	本町一丁目			
	19:00	★武庫・町営武庫第2		19:00	洲河崎			
22日(水)	19:00	杉谷	11月4日(火)	19:00	★御机・笠良原			
	19:30	★新道・町営武庫住宅		19:00	本町五丁目			
23日(木)	19:00	柿原						
	19:00	新町一丁目						

江府町の文化財めぐり①

横田村詮(内膳正)の発給文書「村切裁許状」

むらあき ないせんのしょう

むらざり

これは、関ヶ原の戦いの功績によって、1600年(慶長6)駿河国(静岡県)から伯耆国に移封を命ぜられた中村氏の家老横田村詮による裁許状です。久連区有文書の中にあつた(『江府町史』)というこの文書は、この時代のものとしては『新修米子市史』に13例記載されている中で「村切」に關しては唯一の文書で、当時を知る上で貴重なものです。

江戸時代の支配は、村単位で行われました。そのために、まず「村切」によって村の境界を定め、「検地」によって田畑の面積を明らかにして収量を確定し、年貢高を決定しました。この文書は、美女石と佐川の村境について家老の横田村詮が決裁したものです。

領主中村忠一は10歳であったために、幕府から重臣の中村一榮、横田村詮が後見役を命ぜられ、伯耆国支配に努めました。横田村詮は駿河国でも治政に關わっていますので、伯耆国領内支配・検地等にもその力量を発揮したと思われる。

1603年(慶長8)

11月、領主中村忠一は、何かと口うるさくいさめる村詮の態度を嫌い、ついに殺害に及び、横田一族は米子城と谷をはさんだ飯山に立てこもって合戦となり滅びました。

(文責 江府町文化財

保護審議会)

町指定有形文化財(昭和52年12月15日) —歴史民俗資料館保存—



解説(『新修米子市史』)

已上

下安井村之内美

女石從佐川、

論地之由候。境

目者、日野河切二

申付候間、已来

可成其意者也。

内膳正

村詮(花押)

(慶長6)

丑五月廿日

下安井役人

太郎左衛門

地域おこし協力隊通信

No.6 真の課長補佐

協力隊も出展!?

なんと！江府町文化祭に協力隊も出展することが決まりました！
テーマは・・・「課長補佐」



素晴らしい課長補佐をお届けさせていただきます。
ご期待！

おまけ
～24歳のふるみくん～



都市部の学生との交流♪



広島修道大学・AiTieの意見交換会などを通して交流をしました。都市圏の学生とのふれあいは新たな観点からの意見をいただくことができとても刺激的でした♡

AiTieの学生は東京で江府町の特産品の販売もしてくれています。修道大の学生は「冬には友達をいっぱい連れてスキーに来ます！」と力強い宣言をしてくれました。今後も彼らとの交流が楽しみです♪

上谷隊員が木谷沢渓流散策マップを作成♪今後は季節ごとのマップを作っていくと話しています。マップは「エバーランド奥大山」などで配布中♡「すぐ欲しい！」という方は、江尾駅2階、協力隊事務所でもお渡しできますよ♪



木谷沢渓流 散策マップ完成!

カーニー先生元気かな？

初夏、江府中学校ALTのカーニー先生の突然のアクシデントで本当にびっくりしました。

協力隊のメンバーも英会話教室（毎週火曜日夜7：00～8：00）に参加させていただいていました。

10月7日からは英会話教室も再開ということでカーニー先生を取材に行ってきました。



日曜日の朝に突然の取材訪問をさせていただきました（ごめんなさい）が快く引き受けてくださったカーニー先生。元気そうな笑顔が見られて本当に良かったです。完全復活よ♪ということで英会話教室の再開、本当に嬉しいです。

お問合せ等 IEA江府事務局 役場福祉保健課
櫃田（ひつだ）さん 0859-75-6111

東京のアンテナショップに出品しませんか？

東京・新橋にある鳥取・岡山アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」に地元の特産品を出品してみませんか？



現在、江府町からの出品エントリーは、お米とお味噌の2点のみ。

せっかくチャンスがありますのでこの機会を生かし江府町旋風を東京でひきおこしましょう！

出品してみたいけど、手続きや発送などがちょっと不安と言う方。知らなかった！と言う方。どんどんご相談ください。

エントリーシートの書き方や商品写真撮影など、出品登録を一度経験した協力隊農業支援班の隊員が丁寧にお手伝いいたします。

食べ物じゃなくても大丈夫ですよ！

電話：090-4152-3978（長田啓）

Eメール：hana_hiraku_flower@s9.dion.ne.jp

までご相談お待ちしております。（^-^*）

新しい畑、はじめました。

先月の初めから宮市の交差点の江尾から見て右側の小さな畑で農業班2人と移住者の方と移住希望者の4人で新しい畑を始めました。その名もなかまなふぁ～むです。この畑では土壌分析と改良をテーマに雑草が生えず、柔らかい土の畑を目指しています。

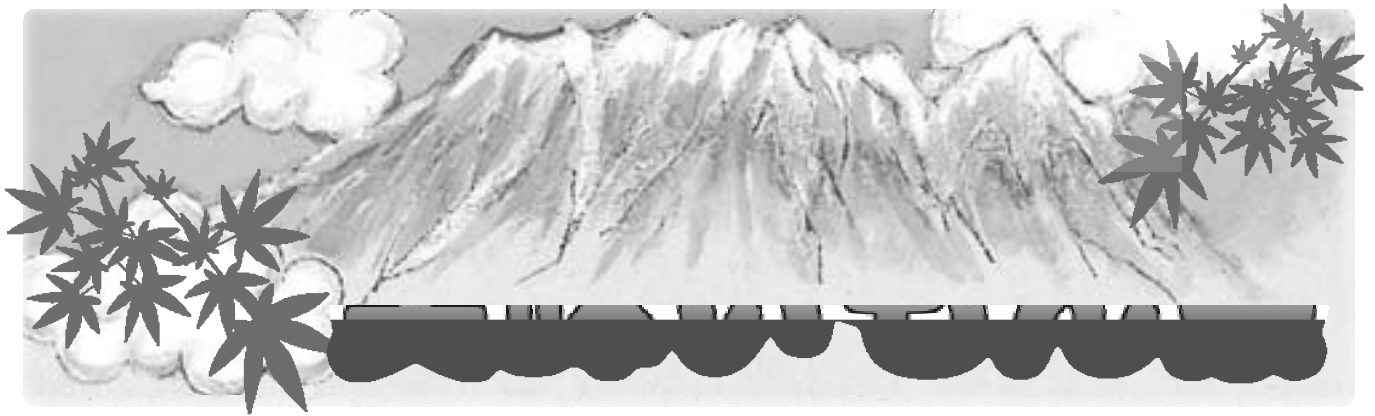
先月の初めから雨が降ったとき用の排水路を鍬で作ったり、アメリカンレーキで土をならしたり、マルチをかけたり等様々なことをしてきました。無事畑の養生が終わり種まきをしていきます。

10月の中旬には一回目の収穫が予定されています！

この畑の特徴として、一年に複数回作物を回転できるようになっているので、これが終わったらまた種まきをしていきます。私たちとしてはこれからその野菜の売り先を探し買ってもらわないといけないので、これからが本番だと思えます。なかまなふぁ～むのこれからに乞うご期待！

（片岡薫哉）





(少雨決行)



- ・大山おこわ
- ・キムチ汁
- ・御醜醐団子
- ・生姜スープ
- ・おこわいなり
- ・大山鶏からあげ
- ・大山そば
- ・かき餅
- ・フライドポテト
- ・あん入り餅
- ・豚汁
- ・こんにやく田楽
- ・じゃがフライ
- ・ぜんざい
- ・焼き椎茸
- ・きのこ汁
- ・焼きおにぎり
- ・野菜かき揚げうどん
- ・特製おにぎり
- ・杵つき餅
- ・しいたけ水餃子
- ・高原野菜
- ・特別栽培米コシヒカリ
- ・大山そば
- ・隠岐西ノ島おさかな
- ・スリミーバーガー
- ・焼きドーナッツ
- ・奥大山焼そば

※変更になる場合があります



- ・江府町食生活改善推進協議会
- ・奥大山ドリーム
- ・米子屋旅館
- ・おかもと旅館
- ・コスモスの会
- ・美用レディース加工グループ
- ・みちくさ推進会議
- ・美宝堂
- ・SAC中尾椎茸屋
- ・農事組合法人宮市
- ・食通中町クラブ
- ・門脇旅館
- ・江府町観光協会
- ・水のたね
- ・しろうさくろうさ
- ・カフェテリア・アペゼ
- ・西ノ島町

(順不同)

●お問合せ 奥大山まちづくり推進課 ☎0859-75-3222



いろいろある、近隣・地元の秋のイベントを満喫しましょう!! 日野軍★秋の陣プロジェクト

会期／10月25日（土）～11月30日（日）

「日野軍★秋の陣プロジェクト」とは？

この秋に開催される日野郡内のさまざまなイベントや紅葉情報などをとりまとめ、イベントカレンダーの配布やマスコミの活用など幅広く情報発信を行い、郡内の皆さんの交流はもとより、郡外からの来客促進を図る取り組みを行います。

同時に、従来から行われているイベントに加え、日野郡の魅力を伝える新たなイベントも数多く創出。日野郡一体となってこの秋を盛り上げ、地域課題解決への突破口とします。

●保存版イベントカレンダー

～郡内で開催されるイベントを時系列で詳細に紹介！～

10月20日頃、郡内各家庭に新聞折り込みで配布します。

また、日野郡3町はもとより周辺市町村の役場その他の主要施設に配置し、イベント会場などでも随時配布します。

●中海テレビで情報発信

～米子市の他、県西部にイベント情報を発信します～

●問合せ先：鳥取県西部総合事務所日野振興センター日野振興局

電話 0859-72-2086 FAX 0859-72-2072



今後の農地について考えてみませんか？

今後、農業従事者の高齢化や担い手不足により、農業をリタイヤせざるを得ない農家が増加することが予想されます。地域の農地が荒れてしまうその時が来る前に、秋～冬にかけて将来の農業について話し合う機会を持ちませんか？

○地域ぐるみで地域の農業・農地を考えていきたい！

→「人・農地プラン」が有効です！

「人・農地プラン」とは数年後の集落の農業についての未来設計図づくりです。担い手へどうやって農地を集めるか、また地域農業のあり方(継続した農地保全や6次産業化等)について話し合っまとめるものです。メリットとしては農地の異動や営農などの見通しがたち、集落の農地(財産)の保全に繋がっていくという点があります。

○担い手として頑張りたい！

→「農地中間管理事業」を活用しましょう！

「農地中間管理事業」とは農地中間管理機構(公益財団法人 鳥取県農業農村担い手育成機構)が農地の出し手と農地の受け手を仲介する事業です。農地の担い手として登録しておくことで農地のあっせんが受けられるなどメリットもあります。また農地を出される場合でも条件が合えば、協力金を受けられる可能性もあります。

農地の相談(個人・集落)は随時受け付けています。

詳しくは農林課・農業委員会までお問い合わせください。





10月1日から、「高齢者の肺炎球菌ワクチン接種」と「小児の水痘予防接種」が定期接種となりました

※定期接種とは、予防接種法に基づき「市町村長が実施しなければならない」とされる予防接種のことです。

【高齢者の肺炎球菌予防接種について】

肺炎は、日本人の死因第3位を占めています。しかも、肺炎により亡くなる方の96.5%が65歳以上の高齢者です（厚生労働省、人口動態統計2011年より）。

肺炎の原因となる肺炎球菌は日常生活の中に存在していますが、高齢だったり、病気があったりして抵抗力（免疫力）が弱まると、感染を起こしやすくなります。

肺炎球菌ワクチンは、肺炎にかかることを予防し、またかかった場合の重症化を防ぐためのワクチンです。今年度の定期接種の対象者は下記のとおりです。該当の方には、個人通知で受診券をお送りしています。接種を受け、肺炎を予防しましょう。

《平成26年度中に次の年齢になる方が対象となります》

- ◆65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳、101歳以上
- ◆60～64歳の方で、心臓・腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある方

また、肺炎は、インフルエンザウイルス感染後の体力低下時にかかりやすくなります。今年度も生後6か月以上の町民を対象にインフルエンザワクチン接種の費用助成を行います。町内のインフルエンザ流行を予防するためにも、みんなで予防接種を受けましょう。

【小児の水痘予防接種について】

水痘とは、いわゆる「水ぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスの感染による発疹性の病気です。子どもたちの間ではごくありふれた病気で、一般には、軽症で治癒しますが、免疫不全の方などでは重症となり、熱性けいれん、細菌感染、肺炎、脳炎などを合併することもあります。

水痘ワクチンの1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると考えられています。

《対象者と接種スケジュール》

区分	対象年齢	接種回数	接種間隔
定期接種対象者	生後12月から生後36月に至るまでの間にある方 (1歳誕生日前日から3歳誕生日前日まで)	2回	3月以上
特例措置対象者 (平成26年度に限る)	生後36月から生後60月に至るまでの間にある方 (3歳誕生日当日から5歳誕生日前日まで)	1回	/
	注) 特例措置の接種期間は、平成26年10月1日～平成27年3月31日までです。		

- 対象のお子さまには、個人通知でお知らせしています。過去に水痘にかかったことのある方や任意で水痘予防接種を受けたことがある方は、定期接種の対象外になったり接種方法が異なることがあります。同封の説明文書をよくお読みいただき、実施医療機関に事前に予約した上で、接種を受けてください。

予防接種に関するお問い合わせ先 役場福祉保健課（電話75-6111）

こころの声に耳傾けよう

食欲の秋がやってきました。みなさん、ごはんを食べて「おいしいな」と思いますか？睡眠で「疲れがとれた」と感じますか？2週間以上つづく“食欲不振”や“不眠”は、もしかしたら「うつ病」のサインかもしれません。

うつ病は、日本人の100人に3～7人が経験しているといわれています。そして、厚生労働省が3年ごとに行っている患者調査では、うつ病を含む気分障害の患者さんが近年急速に増えていることが指摘されています。



こころのサイン

憂うつ、何をしても楽しくない、疲れているのに眠れない、イライラして何かにせき立てられているようで落ち着かない、悪いことをしたように感じて自分を責める、自分には価値がないと感じる、思考力が落ちる、死にたくなる

ひとつひとつの症状は誰もが感じるような気分ですが、それが一日中ほぼ絶え間なく感じられ、長い期間続くようであれば、もしかしたらうつ病のサインかもしれません。

からだのサイン

食欲がない、体がだるい、疲れやすい、頭痛や肩こり、動悸、便秘がち、めまい、口が渴く

◎自分のこと・ご家族のこと等、こころの健康で気になることがあれば、
役場福祉保健課 保健師（電話：75-6111）までご相談ください。



平和を仕事にする自衛官募集案内

陸上自衛隊 高等工科学校生徒

○ 中学卒業生（17歳未満）を対象に、公的資格等を身につけ、国際社会に対応できる将来の自衛官を養成します。

募集人員：約260名

受付：平成26年11月1日～平成27年1月9日

1次試験：平成27年1月24日



☆生徒手当 月額94,900円

☆期末手当 年2回（6月、12月）

☆衣食住 宿舎：無料 食事、被服、寝具：支給または貸与

☆休日 週休2日制 祝日、年末年始休暇等

☆卒業資格等 神奈川県立横浜修悠館高等学校に編入し、高校卒業資格を取得

☆卒業後、防衛大学校や航空学生（パイロット）へ進む方もいます。

*受験料等は無料です。

詳しいお問い合わせは…自衛隊 米子地域事務所

電話 0859-33-2440 米子しんまち天満屋 北隣り YNT第4ビル2F

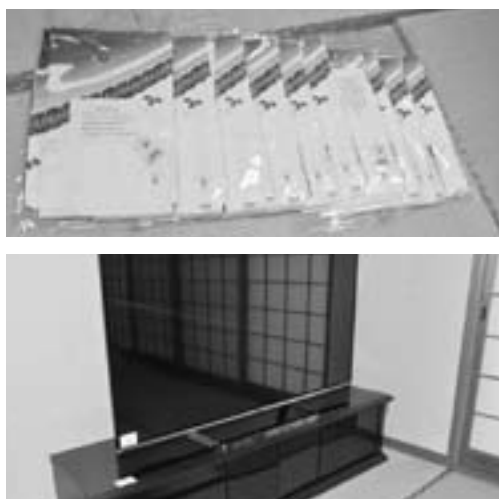
宝くじのコミュニティ助成事業で集会所の備品などを整備しました。

(本町二丁目集落)

コミュニティ助成事業は、自治総合センターが行う宝くじの普及広報事業として、地域活動の促進と地域の連帯意識向上を目的に助成活動をおこなっています。

このたび本町二丁目集落では、液晶テレビ、エアコン、パソコン、プリンター、テーブルなど集会所の設備とともにイベント用として、テントや盆踊りのゆかたなどをそろえました。

これにより、集落での行事がより充実するとともにコミュニティ活動の活性化が図られます。



日本赤十字社から台風災害にともなう義援金受付のお知らせ

1 平成26年

徳島県台風11号・12号災害義援金

【募集期間】平成26年10月31日まで

【受付方法】郵便振替

【口座加入者名】

日赤平成26年徳島県

台風11号・12号災害義援金

【口座記号番号】

001200171513644

2 平成26年8月京都府及び兵庫県

丹波市豪雨災害義援金

【募集期間】平成26年10月31日まで

【受付方法】郵便振替

【口座加入者名】

日赤8月京都府・兵庫県

豪雨災害義援金

【口座記号番号】

00160011586828

3 平成26年広島県大雨災害義援金

【募集期間】平成26年12月26日まで

【受付方法】郵便振替

【口座加入者名】

日赤平成26年広島県大雨災害義援金

【口座記号番号】

001700161551099

4 7・9南木曾町豪雨災害義援金

【募集期間】平成27年3月31日まで

【受付方法】郵便振替

【口座加入者名】日赤赤十字社

【口座記号番号】

001500151513599

* 受領証希望の際は通信欄に「受領証希望」と明記すること。
* 郵便局窓口での取扱いの場合、振替手数料は免除されます。
* この義援金には税制上優遇措置があります。

* 日本赤十字社本社ホームページ
<http://www.jrc.or.jp>

行政相談週間

10月20日～26日は行政相談週間です。行政相談とは、行政に関する苦情、意見・要望を受け付け、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善にいかしています。行政週間を中心として、総務省の「行政相談」を広く国民の皆さまにご理解、ご利用いただくため、次のとおり合同行政相談所が開設されます。

○日時 10月15日(水) 13時～16時

○場所 米子市文化ホール

○参加機関

鳥取県方法務局、米子年金事務所、弁護士ほか

* 弁護士相談は予約優先です。事前に鳥取行政評価事務所までご予約下さい。

○お問い合わせ・お申し込み

総務省鳥取行政評価事務所

TEL 085712415542

国民投票の投票権について

現在、国民投票の投票権は、年齢満20歳以上の日本国民となっていますが、法の改正により、平成30年6月20日までとなっており、それ以降に国民投票がある場合は、投票権年齢は満18歳以上となります。

江府町選挙管理委員会

委員の選任について

江府町選挙管理委員会では、委員長等を次のとおり選任しました。任期は、平成26年8月30日～平成30年8月29日です。 ※敬称略

委員長 田本賢二(杉谷)

委員長代理 中尾良樹(日の詰)

委員 手島容子(本三)

委員 亀田武志(大河原)

日野病院から

インフルエンザ

予防接種のお知らせ

* 主治医のある方は主治医の診察日におこしください。

* 自動再来受付機で予防接種を受け付けし、外来受付でお待ちください。

* 町の助成対象者に配布される「受診券」「負担券」を必ずご持参ください。

(持参されない場合には、費用の全

額が自己負担となります。)

《期間》

平成26年10月20日(月)から平成27年1月30日(金)まで

一般(主治医のない方)

予約の必要はありません

○月曜日～金曜日

午前8時30分～午前10時30分まで

○火曜日～金曜日

午後2時～午後4時まで

一般(主治医のある方)

予約の必要はありません

○主治医の診察予約日

午前7時30分～午前11時30分

○主治医の診察予約日以外の日

午前8時30分～午前10時30分

小児科(中学生以下の方)

必ず予約が必要です

○月曜日～金曜日

(午後2時～午後4時30分まで)

※小児科は予約制となりますので

あらかじめ問い合わせください。

●問い合わせ先

日野病院

0859-172-10351

食のみやこ鳥取県

「農と食のフェスタ in せいぶ」

開催

西部地区では、地元の食材や料理など、食を通じた西部地区の魅力を

広く発信するため、「米フェスタ」、「JAふれあいまつり」、「ネギ来まつり&米子駅まつり」、「せいぶの農と食まつり」が大集合して開催されます。江府町からの出店もありますので、この機会に秋の味覚を賞味ください。

《日時》

1日目 10月25日(土)

午前10時～午後4時

(米フェスタは午前11時～)

2日目 10月26日(日)

午前10時～午後3時

《会場》

米子コンベンションセンター

米子駅前だんだん広場

JR米子駅前

米子市文化ホール多目的広場

《主催》

食のみやこ鳥取県西部

フェスタ連絡協議会

《問い合わせ先》

西部総合事務所農林局農林業振興課

TEL 0859-131-9643

FAX 0859-134-1083



婚活が10倍楽しくなる!

UN-PAKU meeting

2014開催!

中海・宍道湖・大山圏域Ⅱ「雲伯(うんぱく)地方」の独身男女を対象とした「婚活イベント」を、米子・松江の2会場で実施します。4人の講師のセミナーで、コミュニケーション能力に磨きをかけて、交流会で素敵な出会いを見つけましょう!

《米子会場》

日時: 11月24日(祝)10時～15時

場所: 米子コンベンションセンター

《松江会場》

日時: 11月30日(日)10時～15時

場所: 松江テルサ

《定員》

各会場100名(男女各50名)程度

《参加料》

3,500円

《申込み》

※要事前振り込み

はがき、メール、FAXにてお申込みください。

詳しくはホームページ

(<http://www1.city.matsue.shiman>)

e.jp/teiju/new/deainobah.html)

をご確認ください。

《締切》

10月31日(金)当日必着

《主催》

出合いの場づくり事業実行委員会

《問い合わせ先》

出合いの場づくり事業

実行委員会事務局

電話: 0852-551-5660

FAX: 0852-551-5920

Eメール: teiukigyou@city.matsue.jp

農作業安全期間実施中

9月1日～10月31日までは秋の農作業安全期間になっています。今年安全啓発を目的に第1回鳥取県農作業安全標語コンクールが開催されました。応募作品665点の中から最優秀賞1点、優秀賞4点が選ばれました。そのうちの2点を紹介します。

●最優秀作品

「お帰りのさい 今日也更新

我が家の農作業事故0記録」

鳥取市 三谷一孝

●優秀賞作品

「安全確認

「まあいつか!」が命取り」

日南町 木山篤志

また、県内では今年5件の農作業事故が発生しました。日野郡でも9月に入ってから1件の農作業事故が起きています。農作業時は安全に十分注意してください。

地元・日野高校の魅力アップに取り組みます!

○日野高等学校魅力向上コーディネーターの紹介

鳥取県立日野高等学校と地域をつなぎ魅力向上を図る「日野高等学校魅力向上コーディネーター」に、米子市の片平誓子（かたひらせいこ）さんが採用されました。

片平さんは、日野高校の学習カリキュラムを魅力あるものとするため、日野高校と日野郡各地域・団体および日野郡3町のニーズなどをくみ上げ、日野高校の魅力化・活性化にかかる事業の企画・運営・補助などの活動を通して、学校と地域のコーディネートを行っていきます。

（これからの主な活動内容）

（例）

- ・特色ある科目に応じた地域人材の発掘
- ・地域資源（自然、文化、人材、施設など）の有効活用の検討
- ・特色ある取り組みによる高校生参加の地域交流イベントの企画
- ・学校活動などの情報発信

など

（片平さんからひと言）

「このたび、日野高校と地域をつなぐお手伝い役として働くこととなりました。日野高校と地域のつながりを強くするために、日野郡3町の皆さんが持っている知恵をどうぞ分けてやってください。

これから、皆さんの地域にお邪魔することがあるかもしれません。その時は、ぜひ気軽に話を聞かせてください。新しいつながりを一緒に作っていきましょう」



チャレンジクッキング

(10月)

この料理は手早く作るのがコツです。トマトの表面にさっと火が通る程度で炒めすぎないようにしましょう。また、調味料Aは器にすべて入れて混ぜ合わせて準備しておくことで火の通り過ぎを防ぎおいしく作るができます。

（食生活改善推進協議会）

一人分栄養量 エネルギー 267kcal 食塩相当量 1.3g

トマトと卵のふわふわ炒め

材料（4人分）

トマト	400g（3～4個）
卵	6個
しろねぎ	1本
きくらげ（乾）	4g
サラダ油	大さじ2
A	中華スープ 大さじ1
	酒 大さじ1
	塩 2g
	こしょう 少々
	片栗粉 小さじ2

作り方

- ① トマト→くし型8等分に切る ねぎ→みじん切り
- ② きくらげ→湯で戻し、細く切る
- ③ 卵→ときほぐしておく
- ④ フライパンに油を熱し順に炒め合わせる
ねぎ→きくらげ→トマト（さっと）→卵
- ⑤ 卵が固まったらAの調味料を加えてとろみがついたら出来上がり。



日曜日	曜日	行事名	場所	時間
15	水	公民館講座 (大正琴)	防災・情報センター	10:00~12:00
		公民館講座 (社交ダンス)	防災・情報センター	14:00~16:00
16	木	明德学園	防災・情報センター	9:30~16:00
		公民館講座 (陶芸)	高齢者創作館	13:30~16:00
		広域隣保活動 (陶芸教室)	高齢者創作館	19:00~21:00
		もの忘れ外来	江尾診療所	13:00~16:00
		証明書発行窓口延長 (住民票、印鑑、所得、納税証明)	役場本庁舎のみ	~19:00
17	金	広域隣保活動 (陶芸教室)	高齢者創作館	19:00~21:00
		公民館講座 (フラダンス)	防災・情報センター	14:00~15:30
		赤ちゃん健診	総合健康福祉センター	受付 13:00~13:30
18	土	広域隣保活動 (パソコン)	本町五丁目集会所	10:00~12:00
19	日	公民館講座 (手話)	防災・情報センター	13:00~14:30
20	月	公民館講座 (墨彩画)	防災・情報センター	13:30~15:30
		証明書発行窓口延長 (住民票、印鑑、所得、納税証明)	役場本庁舎のみ	~19:00
21	火	住民健診	総合健康福祉センター	8:30~10:30(受付) 13:30~15:00(受付)
22	水	住民健診	総合健康福祉センター	8:30~10:30(受付) 13:30~15:00(受付)
		人権・行政相談	防災・情報センター	9:00~12:00
23	木	証明書発行窓口延長 (住民票、印鑑、所得、納税証明)	役場本庁舎のみ	~19:00
24	金			
25	土	文化祭作品展示	防災・情報センター	10月25日~11月2日
26	日			
27	月	証明書発行窓口延長 (住民票、印鑑、所得、納税証明)	役場本庁舎のみ	~19:00
28	火			
29	水			
30	木	補聴器相談会 (トーン補聴器センター)	総合健康福祉センター	13:30~15:00
		証明書発行窓口延長 (住民票、印鑑、所得、納税証明)	役場本庁舎のみ	~19:00
31	金	補聴器相談会 (中国補聴器センター)	総合健康福祉センター	9:30~11:30
		町慰霊祭	山村開発センター	10:00~11:00
		農地相談会	山村開発センター	13:30~16:00

日曜日	曜日	行事名	場所	時間
1	土	江府町文化祭 音楽・芸能発表	江府中学校	10:00~16:00
2	日			
3	月			
4	火	広域隣保活動 (エコクラフト)	本町五丁目集会所	9:00~12:00
		江尾の会	総合健康福祉センター	9:30~11:30
5	水	公民館講座 (大正琴)	防災・情報センター	10:00~12:00
6	木	広域隣保活動 (生花)	本町五丁目集会所	19:00~21:00
		もの忘れ外来	江尾診療所	13:00~16:00
		証明書発行窓口延長 (住民票、印鑑、所得、納税証明)	役場本庁舎のみ	~19:00
7	金	広域隣保活動 (生花)	本町五丁目集会所	19:00~21:00
8	土	解放文化祭	本町五丁目集会所	8:00~21:00
9	日	解放文化祭	本町五丁目集会所	8:30~11:30
10	月	公民館講座 (押し花)	防災・情報センター	13:00~17:00
		公民館講座 (絵手紙・油絵)	防災・情報センター	13:30~15:30
		証明書発行窓口延長 (住民票、印鑑、所得、納税証明)	役場本庁舎のみ	~19:00
11	火	公民館講座 (パッチワーク)	防災・情報センター	13:30~15:30
12	水	人権・行政相談	防災・情報センター	9:00~12:00
		公民館講座 (書道)	防災・情報センター	13:30~15:30
13	木	公民館講座 (社交ダンス)	防災・情報センター	14:00~16:00
		公民館講座 (ヒップホップ)	防災・情報センター	19:00~20:30
		家族の会	総合健康福祉センター	10:00~12:00
		補聴器相談会 (西日本補聴器)	総合健康福祉センター	13:30~15:00
		証明書発行窓口延長 (住民票、印鑑、所得、納税証明)	役場本庁舎のみ	~19:00
14	木	公民館講座 (生花)	防災・情報センター	19:00~20:30

《10月の納税は》
町 県 民 税 3 期
国民健康保険税 5 期
介護保険料 5 期
後期高齢者医療保険料 4 期
納期限は10月31日(金)です。(口座振替は10月31日)

今月の国民年金
納付期限 10月分 平成26年12月1日まで
日本年金機構から送られている納付書添えて金融機関でお支払いください。なお、口座振替の方は、上記期限が振替日です。

応援ありがとうございます!

ふるさと納税

延申込件数 229件 (前月比+48件)

延寄付金額 298万円 (前月比+74万円)

鳥取県最低賃金が改定されました

1時間：677円

(発効日：平成26年10月8日)

詳しくは、鳥取労働局労働基準部 賃金室(☎0857-29-1705)又は最寄りの労働基準監督署へお尋ねください。

世帯数	9月未現在	前月比
1	1,103	(-2)
2	1,075	(-5)
3	1,011	(+1)
4	848	(-4)
5	213	(-1)

◎ご結婚を祝します
◎ご出生おめでとう
◎ごごめい福を祈ります
◎久保(氏) 富子(年齢) 87歳
◎本三(氏) 花子(年齢) 99歳
◎佐川(氏) 清子(年齢) 88歳
◎美田(氏) 渡部(氏) 99歳
◎荒川(氏) 西田(氏) 99歳
◎佐野(氏) 徳岡(氏) 99歳
◎半田(氏) 川上(氏) 99歳
◎本五(氏) 宮上(氏) 99歳
◎尾上(氏) 宮上(氏) 99歳
◎お誕生おめでとう
◎高井(氏) 美輝(氏) 99歳
◎神庭(氏) 信吾(氏) 99歳
◎長谷部(氏) 豊(氏) 99歳
◎浦本(氏) 米河(氏) 99歳
◎福本(氏) 米河(氏) 99歳
◎川上(氏) 鳥取(氏) 99歳
◎結納を祝します
◎本五(氏) 鳥取(氏) 99歳
◎真奈美(氏) 鳥取(氏) 99歳
◎恵二(氏) 鳥取(氏) 99歳

ご寄付

社会福祉協議会に次の方からご寄付を
いたされました。(9月分) 敬称略
◎見舞い返して
◎本町二丁目 福田(氏) 99歳
◎香典返しとして
◎武庫(氏) 加持(氏) 99歳
◎新田(氏) 関持(氏) 99歳
◎洲崎(氏) 早苗(氏) 99歳
◎美河(氏) 母政(氏) 99歳
◎その他として
◎サントリースプロダクツ労働組合 1件

人の動き

9月届(敬称略)

収穫の秋

～美味しいお米が
出来ました～

江府小学校稲刈り



すっかり秋の気候となりました。衣替えの季節です。町民の皆様には、健康にお過ごしのことと思います。さて、町内では稲の刈り取りも進んでいるようですが、今年は8月の天候不順により実りが遅いようです。町報が町民の皆さんに届くころには、まだ稲刈りの最中と思います。先日、今年作りの稲について、鳥取県西部地区は「平年作を下回る」との報道発表がありました。本町の作況を農協の営農センタールにお聞きしたところ、平年に比べ全体的に「減収」の状況であるとの報告を受けました。夏場の日照不足が大きく影響しているようです。また、イノシシ被害も多く影響していると思えます。残念です。

話題は変わりますが、10月5日は江府町防災の日でした。各集落においてそれぞれ地震発生を想定した避難訓練を行いました。宿泊を伴う本格的な訓練を実施され、地域防力の向上を図られた。貝田集落では、江府消防署の協力を取り組みには感心いたしました。また、貝田集落では、自衛消防との共同訓練により消防団、自衛消防との共同訓練により、炊き出し訓練も実施いただきました。後にも、住民の皆様が安全で安心して暮らしていただけるまちづくりに努めてまいります。

これから奥大山の自然の素晴らしき季節です。イベントも多い季節です。健康にご留意いただき楽しく過ごしてください。

町長後記

